

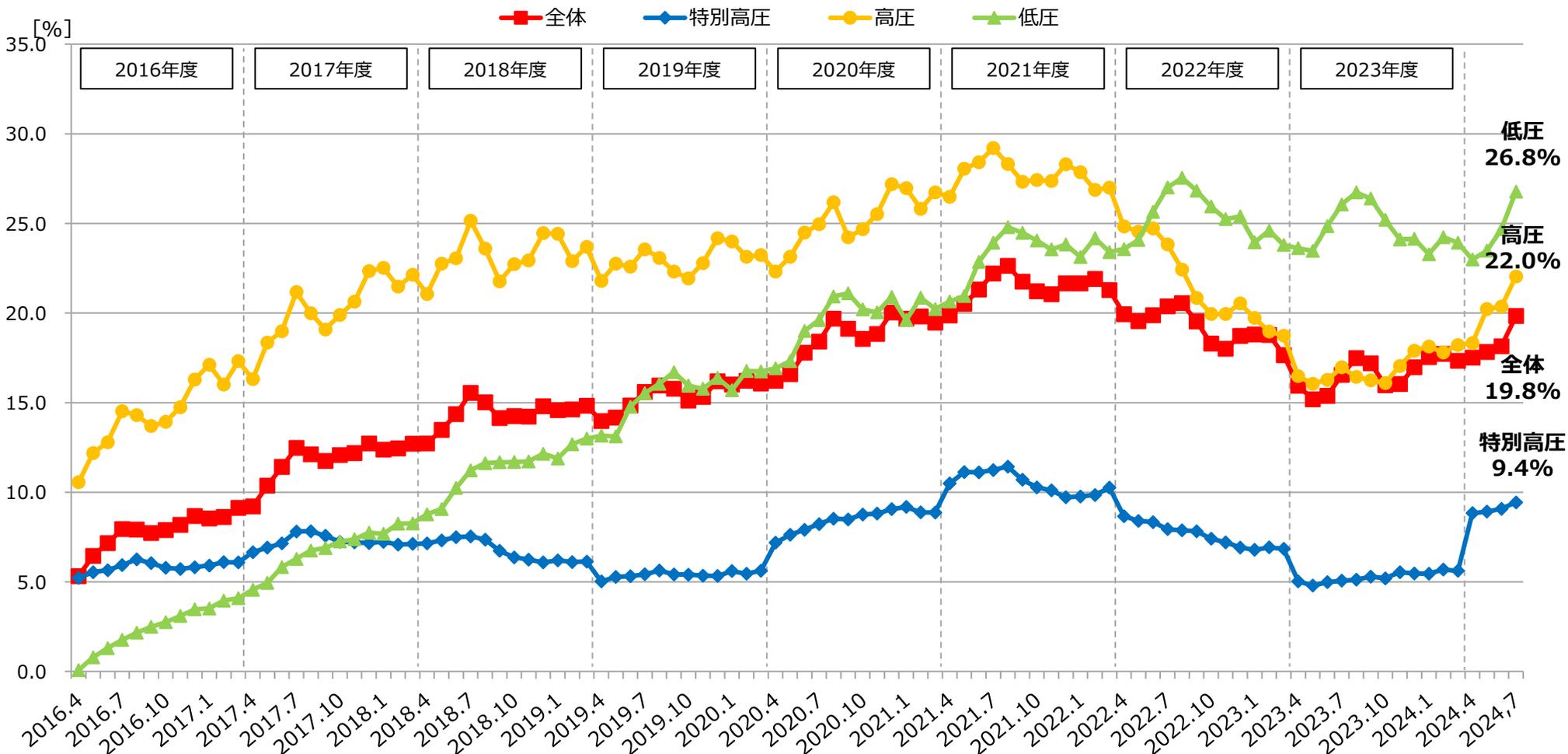
# 電力小売全面自由化の進捗状況について

2024年10月29日

資源エネルギー庁

# 新電力のシェアの推移

- 全販売電力量に占める新電力のシェアは、2024年7月時点では約19.8%。  
うち家庭等を含む低圧分野のシェアは、約26.8%。

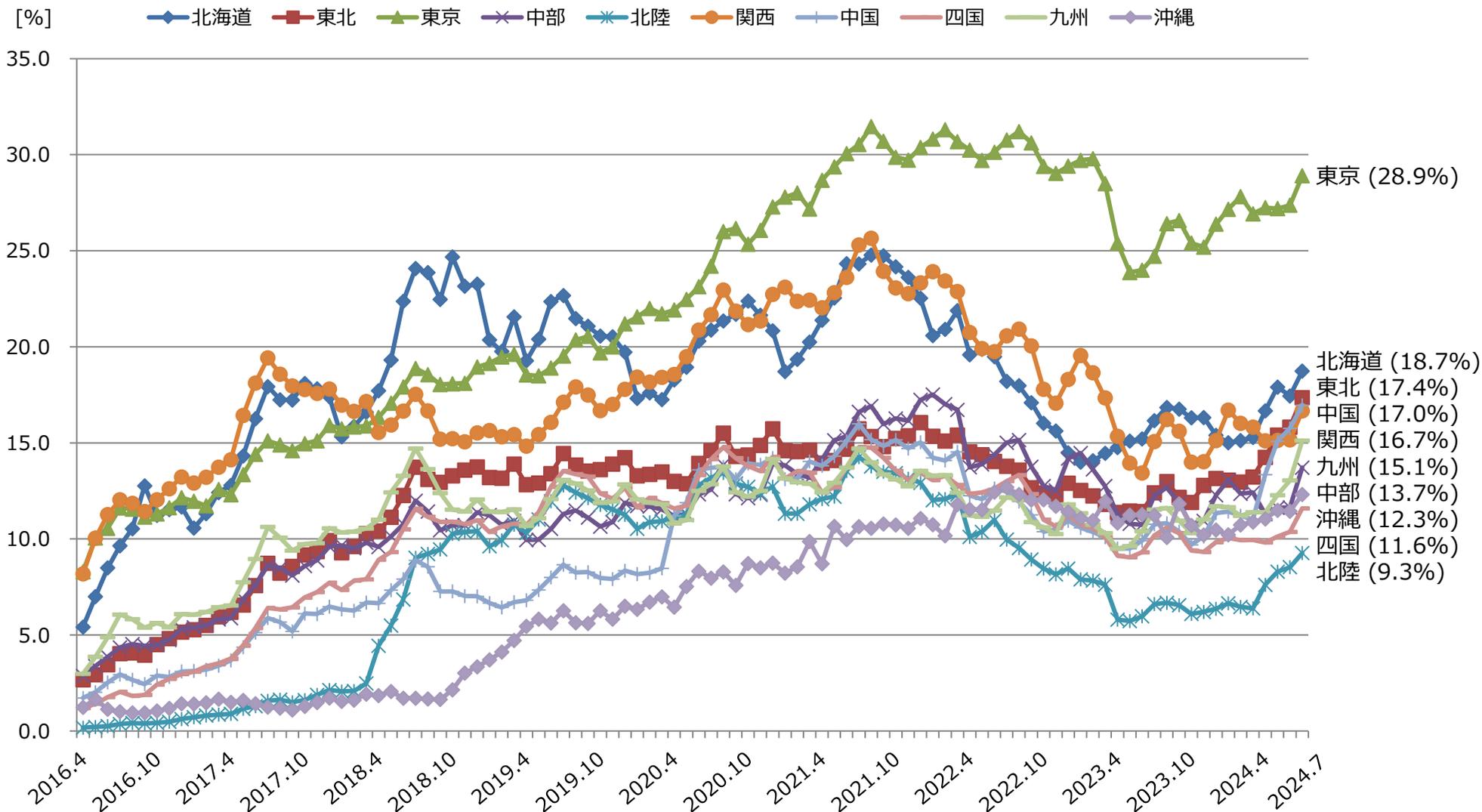


※上記「新電力」には、供給区域外の大手電力（旧一般電気事業者）を含まず、大手電力の子会社を含む。  
※シェアは販売電力量ベースで算出したもの。



# 供給区域別の新電力シェア（全電圧合計）

● 全面自由化以降、供給区域別の新電力のシェアは以下のとおり。



※シェアは各供給区域において、大手電力（旧一般電気事業者）以外の新電力の販売量を、供給区域内の全販売量で除したもの。

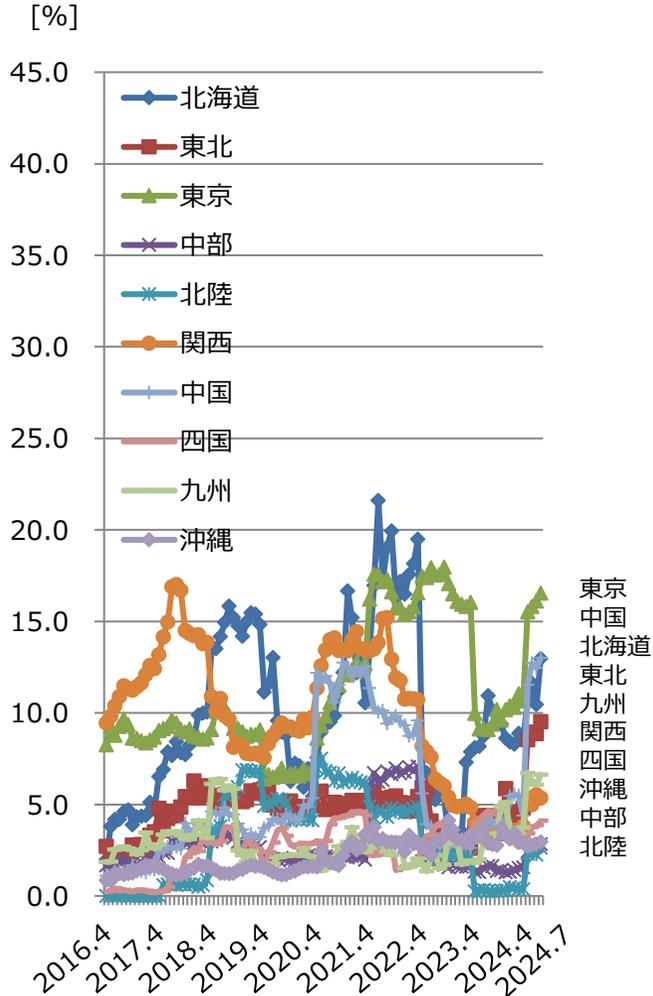
※上記「新電力」には、供給区域外の手電力を含まず、大手電力の子会社を含む。

(出所) 電力取引報

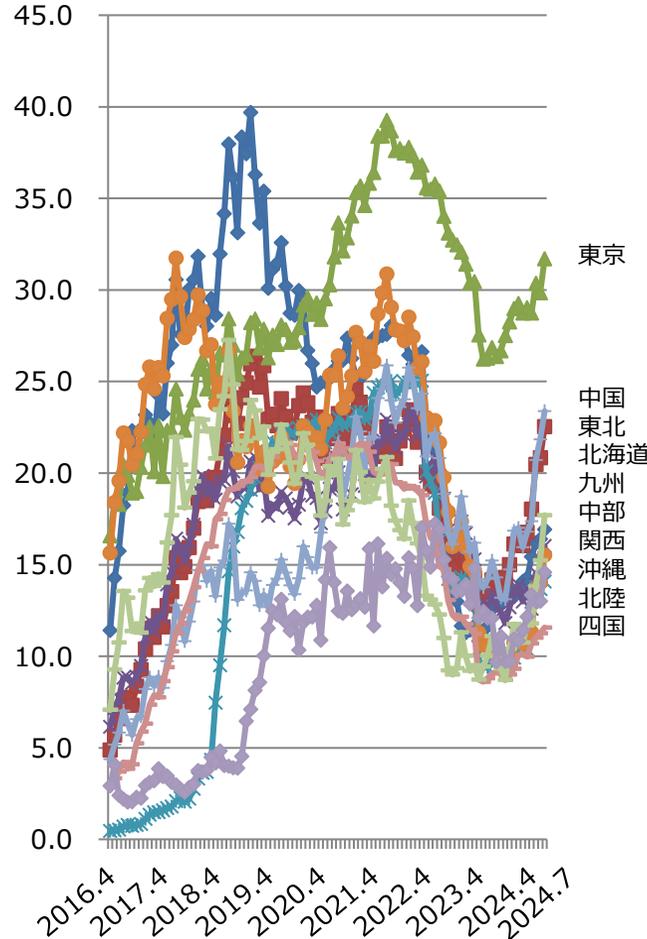
# 電圧別の新電力シェア（供給区域別）

- 電圧別の新電力のシェアは以下のとおり。

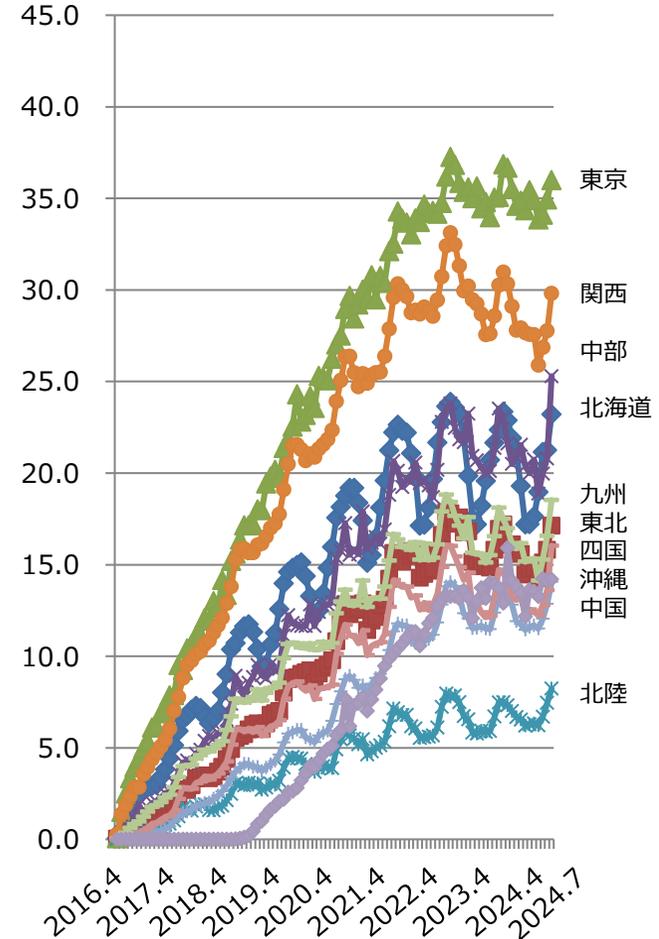
## 特別高圧



## 高圧

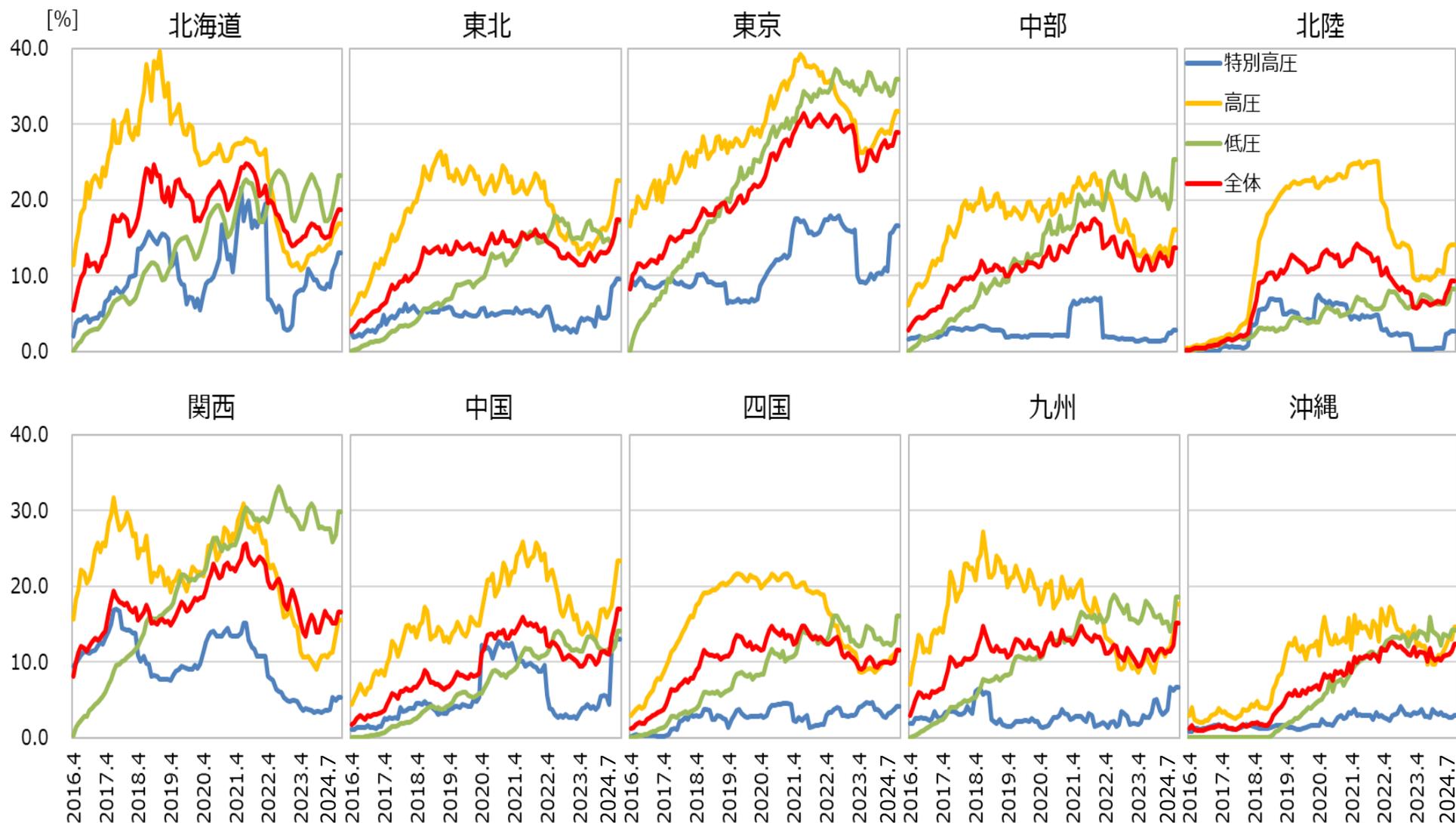


## 低圧



※シェアは各供給区域において、大手電力（旧一般電気事業者）以外の新電力の販売量を、供給区域内の全販売量で除したもの。  
 ※上記「新電力」には、供給区域外の手電力を含まず、大手電力の子会社を含む。

# (参考) 供給区域別・電圧別の新電力シェアの推移



※シェアは各供給区域において、大手電力（旧一般電気事業者）以外の新電力の販売量を、供給区域内の全販売量で除したもの。  
 ※上記「新電力」には、供給区域外の手電力を含まず、大手電力の子会社を含む。

(出所) 電力取引報

# 小売電気事業者の登録数

- 小売事業者の登録数は足下では横ばい。2024年9月末時点で734者。
- そのうち2024年9月末時点の自由化以降の事業承継は累計で171件、事業廃止や法人の解散等は123件となっている。

[件]

小売電気事業者の登録数の推移

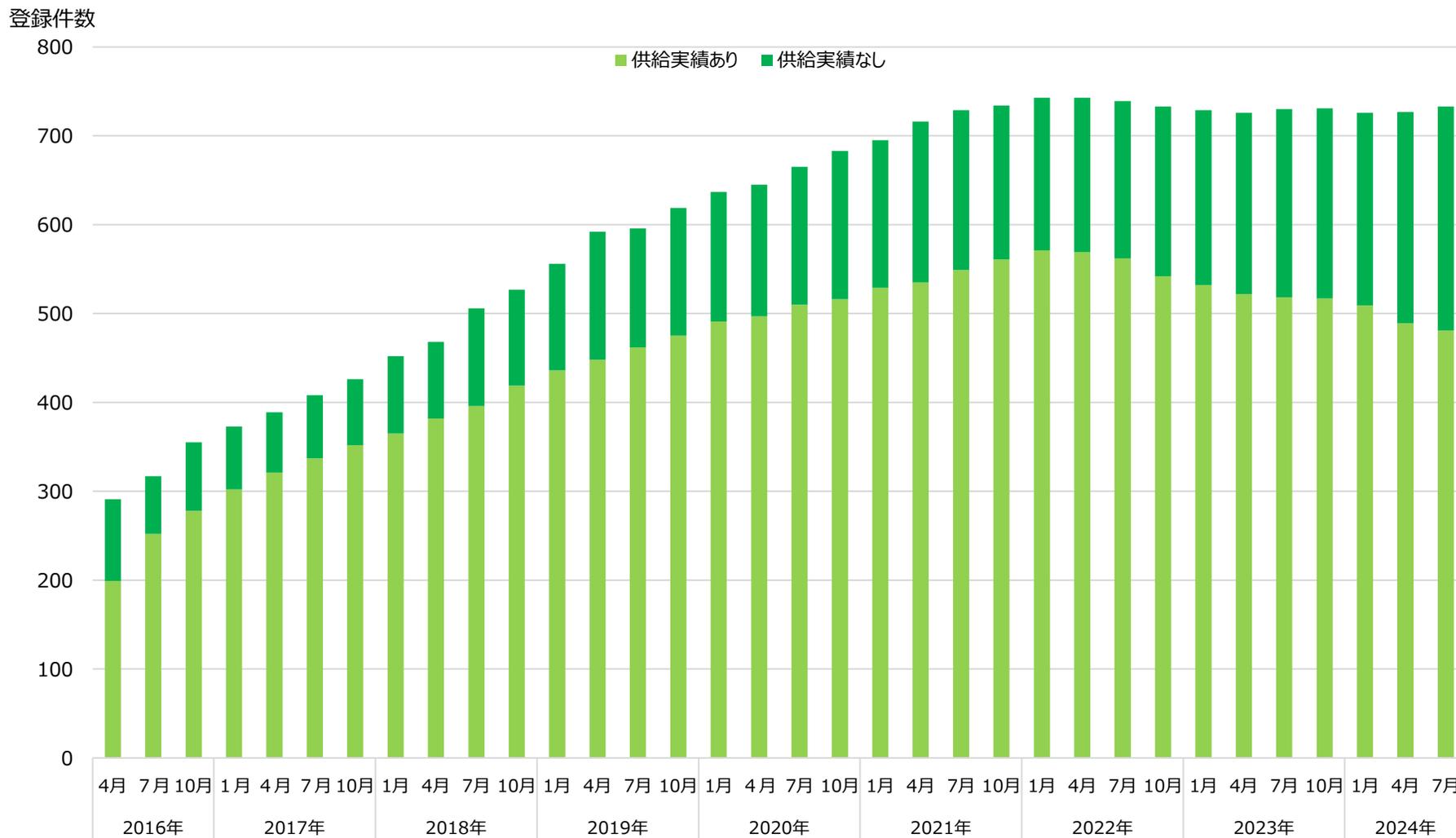


※登録件数は、月末時点で実際に登録されている件数の合計。

※休止、承継、廃止・解散・取消は2016年4月以降の累計。

# 供給実績のある小売電気事業者の推移

- **供給実績のある事業者は、2024年7月末時点で481者。**

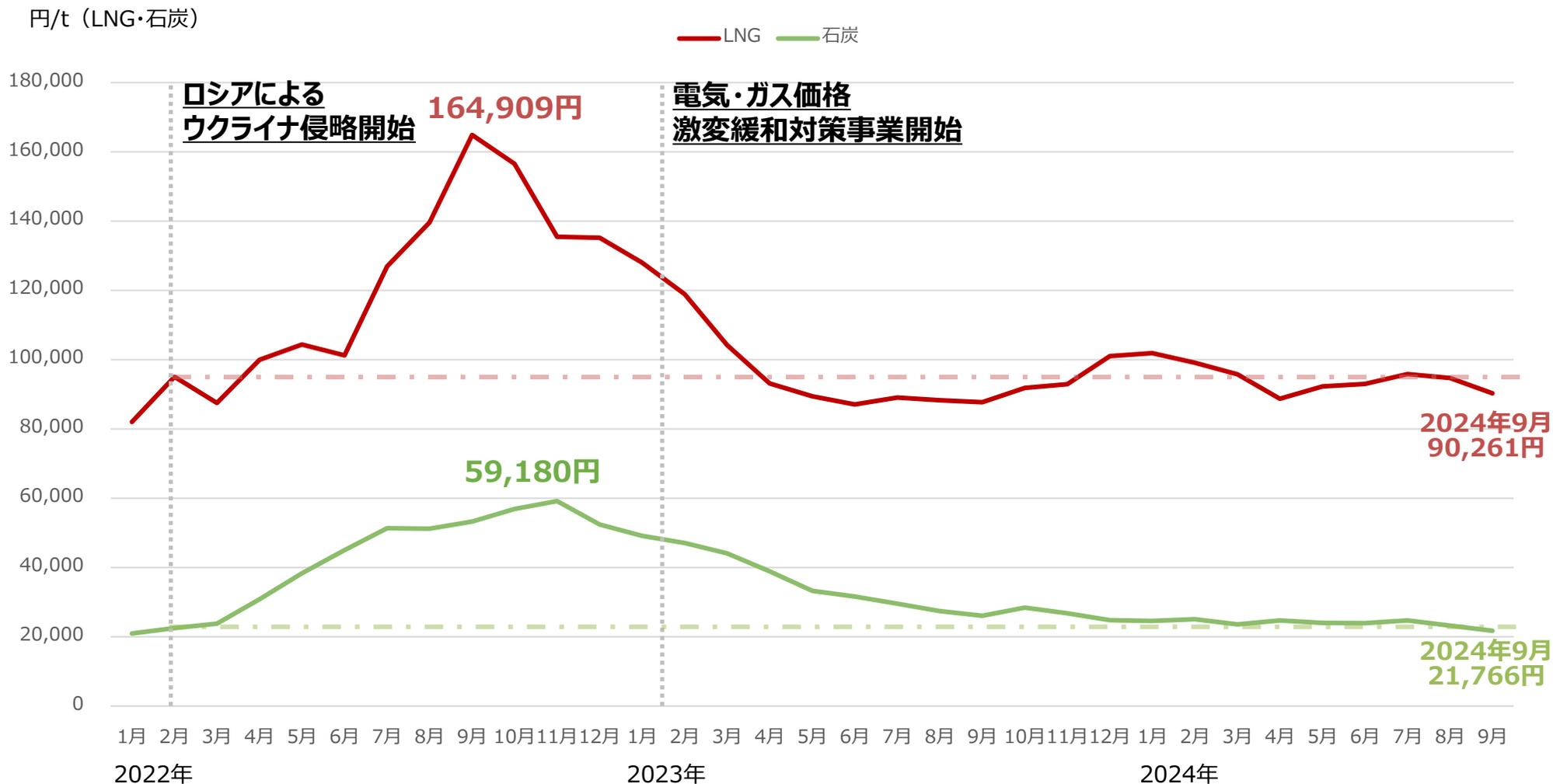


※登録件数は、月末時点で実際に登録されている件数の合計。

(出所) 資源エネルギー庁調べ

# 燃料輸入価格の推移

- 電気料金への影響が大きいLNGと石炭の燃料価格は、2022年夏頃に高騰したが、2023年には下落。現在、ロシアによるウクライナ侵略の開始時と同程度の水準に回復し、推移。

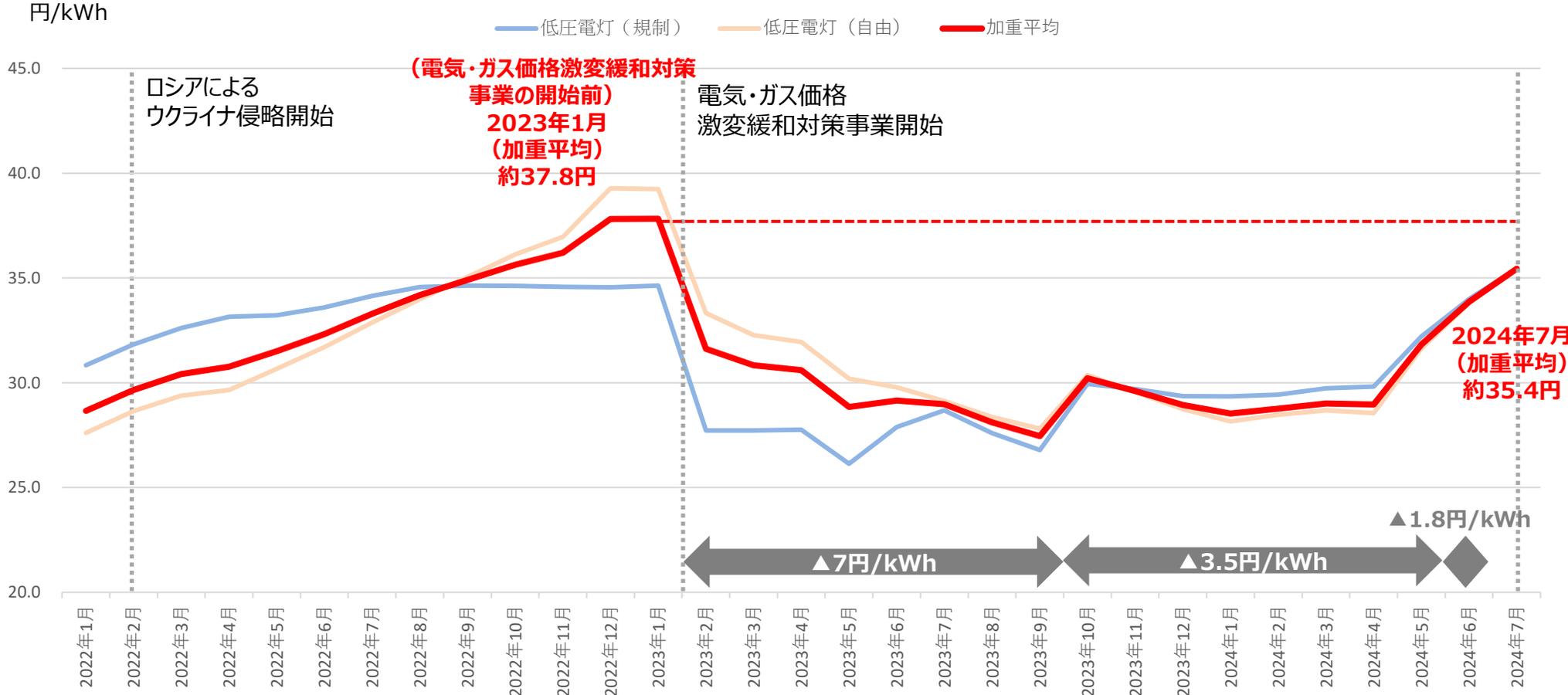


※財務省の貿易統計より。2024年9月分は、10月17日速報版。

# 電気料金の推移（1kWhあたり単価）

- ロシアのウクライナ侵略等による燃料輸入価格の高騰に伴い、2022年以降、電気料金は上昇（特に自由料金）。
- 2023年以降、規制料金値上げ（同年6月）を実施するも、電気・ガス価格激変緩和対策事業に加え、燃料輸入価格が低下したことにより、電気料金は低下。 ※足元では新たな料金支援（酷暑乗り切り支援）を実施中。

電気料金単価（低圧・電灯（家庭用））の推移

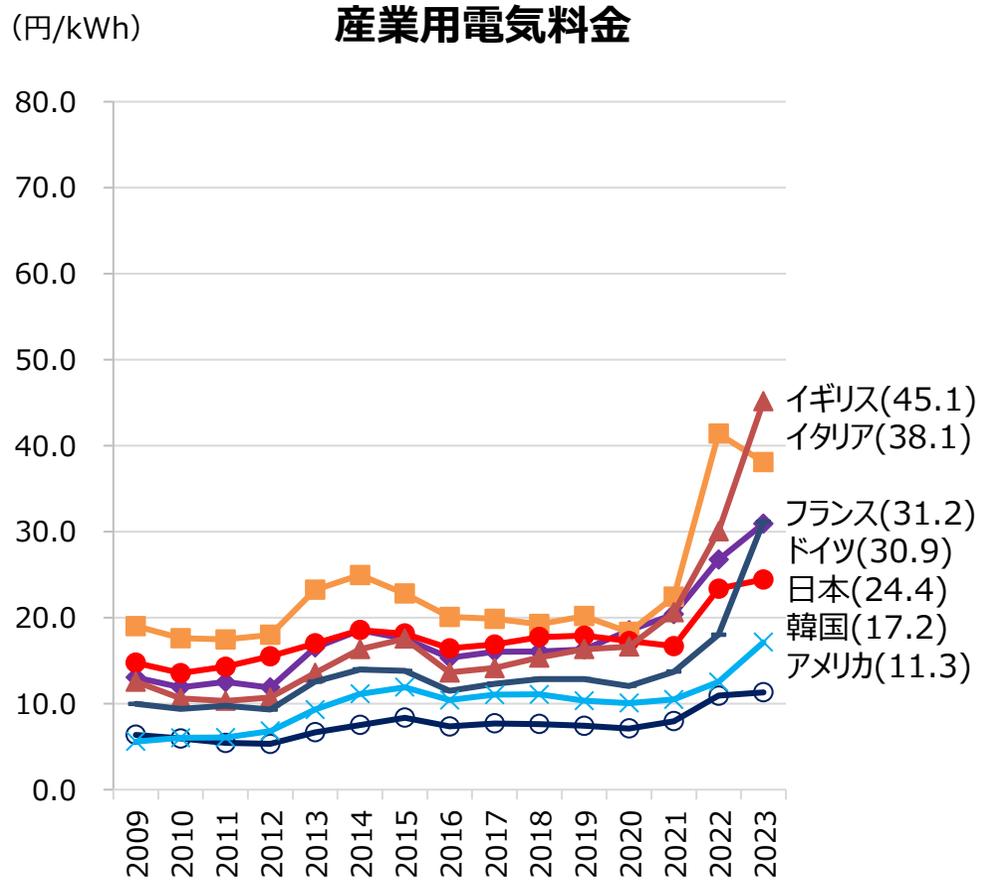
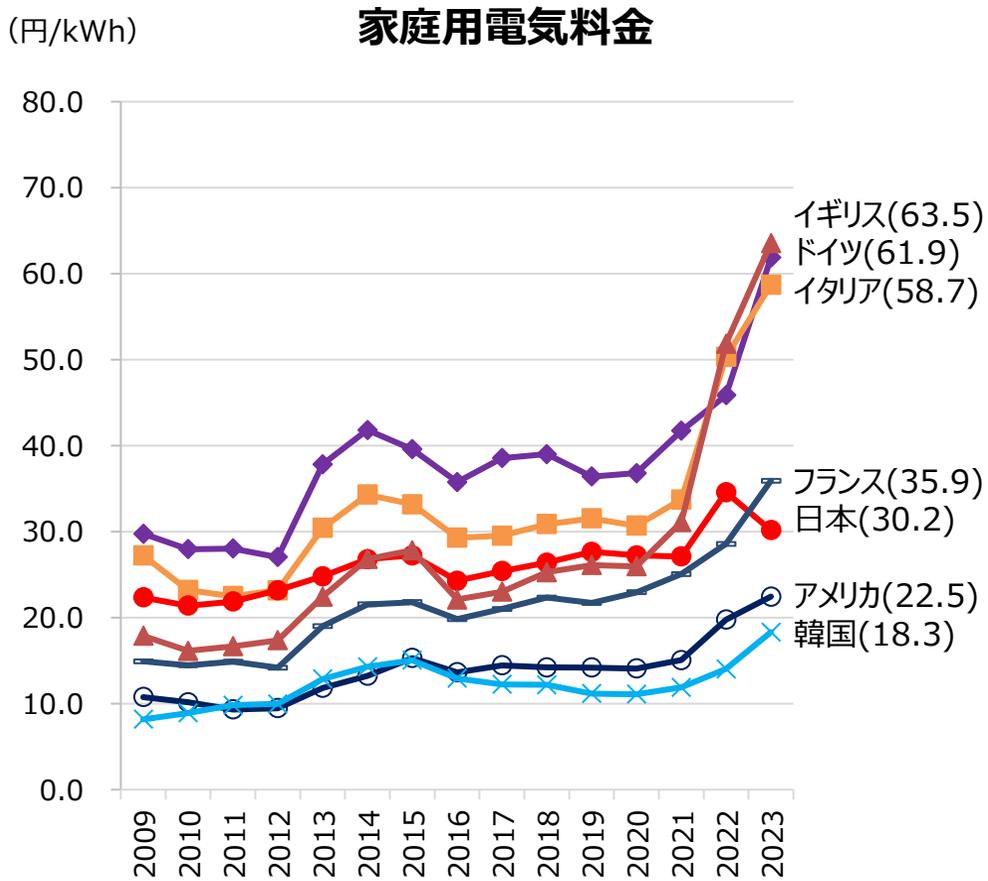


（出所）電力取引報より。FIT賦課金及び消費税を含む。  
 ※電力取引報から実績値を用いて計算。

# 電気料金の国際比較

●各国における料金の推移を、毎年の為替レートを考慮して円換算すると、下図のとおり。

※各国で算定方法にばらつきがあるほか、電気料金は同国内でも地域によって様々あるため、下記グラフはあくまで傾向を示すものであることに留意が必要。

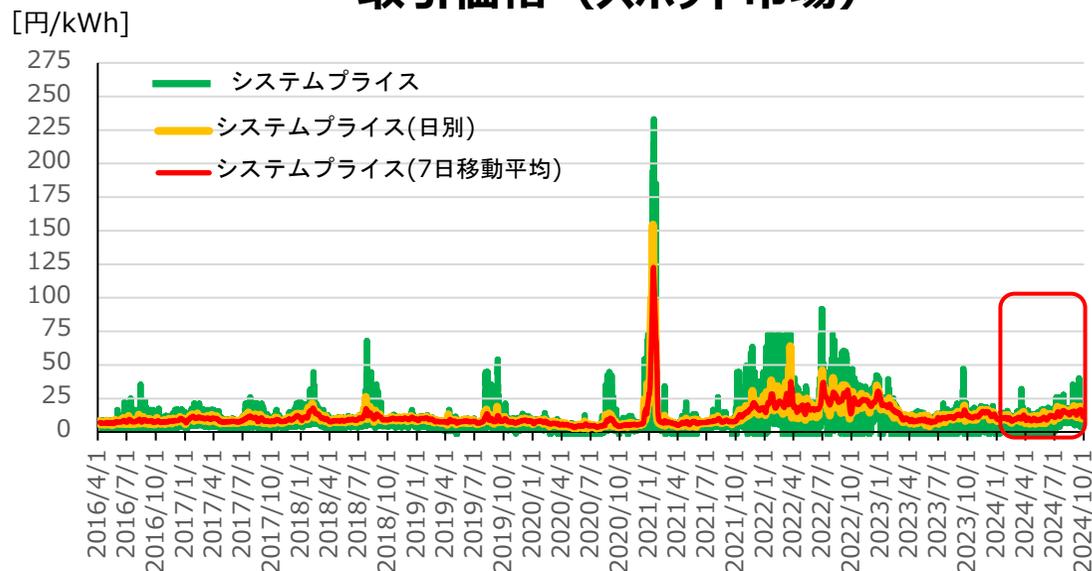


※ドイツ、イタリア、日本、イギリス、フランス、アメリカ、韓国はIEA発表のデータを引用。再エネ賦課金等を含んだもの（諸元は国ごとに異なる）。  
 ※上記料金は、各国の算定方法で求められた単純単価を、出典の資料に掲載されている各年の円ドル為替レートで変換したものです。

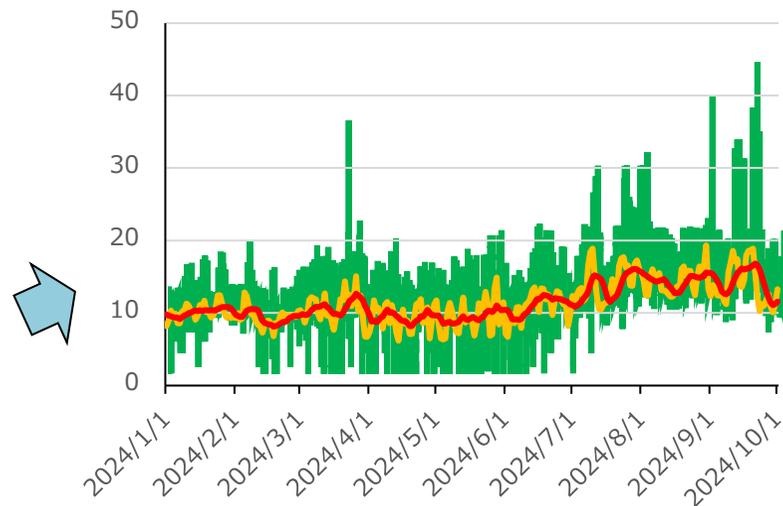
# スポット市場価格の推移

- スポット市場の価格は全面自由化以降、年間平均で10円/kWh弱であったが、**2020年度冬期の需給ひっ迫や2021年度後半からの燃料価格の高騰等で価格高騰や変動が発生。**2023年1月以降は、**燃料輸入価格の低下に伴い、市場価格は低下傾向。**
- また、2020年度ごろから**徐々に0.01円/kWhのコマが増加**している。

## 取引価格（スポット市場）



## <2024年1月1日～2024年10月1日分>



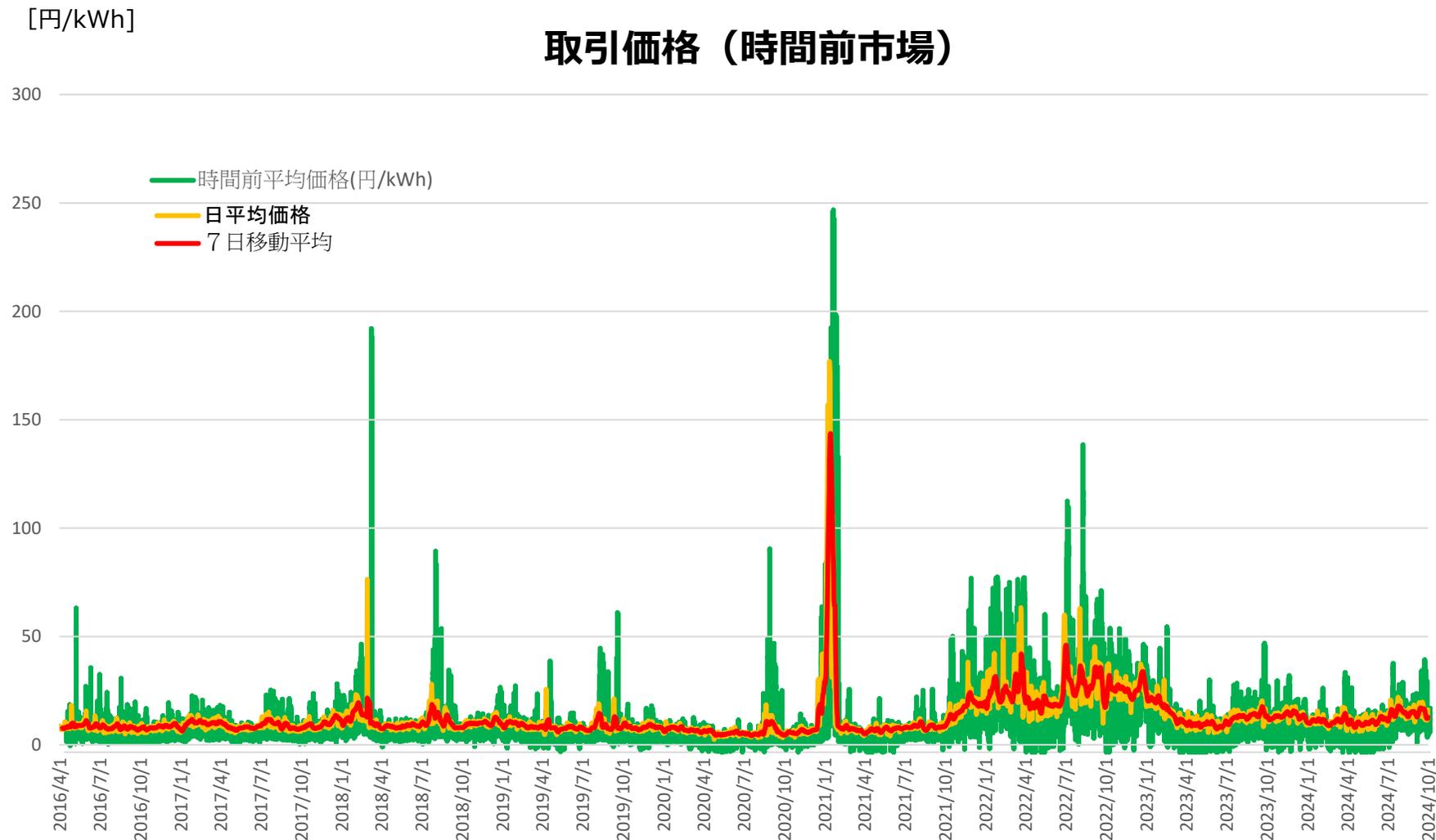
(出所) JEPXホームページ

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度※
平均価格（円/kWh）	16.5	14.7	9.8	8.5	9.7	9.8	7.9	11.2	13.5	20.41	10.74	12.11
最高価格（円/kWh）	55	44.6	44.9	40.0	50.0	75.0	60.0	251.0	80.0	100.0	52.94	45.01
200円/kWh超えの時間帯	0	0	0	0	0	0	0	0.3%	0	0	0	0
100～200円/kWhの時間帯	0	0	0	0	0	0	0	1.6%	0	0.04%	0	0
(参考)0.01円/kWhの時間帯※	0	0	0	0	0	0	0.1%	1.5%	1.6%	3.3%	4.7%	3.3%

※2024年度の平均価格は2024年10月1日時点までの価格

# 時間前市場価格の推移

- 時間前市場における取引価格もスポット市場の取引価格と概ね同様の傾向。なお、**2023年度は、平均11.7円/kWh**で推移。



# 全面自由化後の卸取引市場の状況（取引量）

- 卸電力取引所の取引量は、小売全面自由化当初（2016年4月1日）には、総需要の約2%であったのに対し、2024年7月時点で約35%程度。

## JEPX取引量（約定量）のシェアの推移

